

**イベントレポ①**  
 ならやまの自然観察&自然工作  
 バウムクーヘンを焼こう

8月26日(日)奈良県の「山と森林の月間」協賛イベント“ならやまの自然観察&自然工作バウムクーヘンを焼こう”をならやまで開催した。

7月21日(土)の“昆虫観察と自然工作”に続くイベントである。

参加申込が予定人数を大幅に超えたため、申込締切日までに



お断りする程の人気であったが、参加辞退の連絡や当日のキャンセルもあり、子供34名、保護者21名計55名の参加となった。

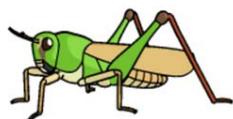
午前中はならやま里山林の観察をしながら遊びの広場に到着。子供たちはロープ渡り、ブランコなど自然の木を利用した遊具で楽しんだ。



昼食の前には冷たいジュースのもてなしをうけ、お弁当を食べ終わるころには、スタッフの手際よくバウムクーヘンを焼く準備もできた。

子供たちは顔を赤くしてバウムクーヘンがだんだんと太くなっていくのを楽しみながら竹をクルクルとまわし、焼きあがったところで

できあがり点を点検、あつあつのバウムクーヘンを試食した。



そこには子供たちの満足そうな顔、うれしそうな顔が並んでいた。



その後、子供たちはスタッフの助けを借りてノコギリを使ってはじめての竹切り体験。



最初はうまく挽けなかった手つきも、だんだん力強くなっていく。



自分で作った竹ぽっくりをさっそく履いてみる。

足を持ちあげるタイミングと、ひもを引くタイミングが合わずによたよたとしていた子も、すこし慣れてくると自転車道のアスファルトで、いい音をさせながら闊歩していた。(高本 記)

